

“事故事例から学ぶ” 未来へのチャレンジ

「建築家の仕事に失敗は許されない、失敗はしてはならないと、私達は念には念を入れ、精魂を傾けて仕事をしている心算です。ですがどんなに心を配った心算でも、所詮は人間のすることですから、いつ何が起こるか分かりません。特に創造にかかわる建築家の仕事には、時に予見し難い落とし穴が待ち受けていて、私達は明日にも思わぬ事故を起こしてしまうかも知れないのです。そんな時、建築家はどのように対処したらいいのか、それを身を以て教えてくれたのは、私の師、前川國男でした。もう50年以上も前のことです。…(略)」

※故鬼頭梓氏(2003年当時にCPD評議会委員長)がCPD認定ケンバイセミナーの開催にあたり寄稿された挨拶文からの抜粋

「予見し難い落とし穴」は、時代とともに技術革新が進んでも、どんなに経験豊富でも、人が携わっている以上、無くなることはありません。そして、自分は大丈夫でも、パートナーやスタッフが落とし穴に落ちてしまう可能性もゼロではありません。特に、創造にかかわる建築家の仕事は、チャレンジの連続と言えるのではないのでしょうか。チャレンジはリスクをとること、リスクはチャレンジの影のようなもの、などチャレンジとリスクは表裏一体なものとしてしばしば表現されます。

本ウェビナーでは、チャレンジし続ける建築家との対談および実際の事故事例の解説を通じて、建築家という専門職業人としての矜持とリスクの備えについて考える機会になれば幸いです。

1. チャレンジする建築家<対談>



八木 佐千子氏

ナスカ 代表取締役



松山 将勝氏

松山建築設計室 代表取締役

◆開催日時:

2024年10月10日(木)

18:00~20:00 Zoom 配信

◆参加費:無料

◆募集人数:200名

※参加ご希望の方は、下記アドレスまたはQRコードに

てアクセスして必要事項を入力してお申込みください

<https://docs.google.com/forms/d/1AfOt->

[BsUqMHUW1hkhmjbrm-UcgbiFrDhrm4q22gK5Y4/edit](https://docs.google.com/forms/d/1AfOt-BsUqMHUW1hkhmjbrm-UcgbiFrDhrm4q22gK5Y4/edit)

◆主催:業務委員会ケンバイWG

◆CPD:2単位



2. 事故事例<解説>

業務委員会ケンバイWG 主査 興 尉氏(日本設計)